

不整脈の治療にも積極的に取り組みます！

野田 誠（内科循環器部長）

皆さま、こんにちは。舛尾先生に代わり、本年2月1日より循環器科に着任いたしました野田誠と申します。46歳で二女一男の父です。前任地は静岡県のお茶畑にある病院で、3年4カ月間も単身赴任生活をしており、家族にはとっても迷惑をかけてしまいました。こちらにまいりまして、都会の喧騒の中にも落ち着いた雰囲気のある病院に多少とまどっております。



循環器系の病気のなかで特に頻度の多いものは心臓の血管が詰まってしまう病気（狭心症や心筋梗塞など）です。これら冠動脈疾患は循環器内科診療の中心ですが、従来どおり24時間・365日間対応し、いわゆる“風船治療”（冠動脈形成術）を中心とした最先端の医療機器も導入してカテーテル治療を行い、心臓の働きを最大限に発揮できるよう配慮してゆきます。

さらに、近年流行の不整脈治療に対しても当院では積極的に取り組み始めております。特に脈がどきどきして速くなる不整脈（発作性上室性頻拍、心房粗・細動、心室頻拍など）に対してつらい症状を起こす起源をカテーテルで根絶する治療法（カテーテルアブレーション）を積極的に導入し、さらに致死性不整脈による急変を予防する装置なども活用して行く予定です。

高血圧・狭心症・不整脈の方は お気軽にどうぞ

偏りなく標準的で水準の高い循環器診療をご提供できるよう最大限の努力を惜しみません。皆さまとともに焦らず着実に歩んでゆきたいとっておりますので、よろしく願いいたします。

さて、皆さまご存知のように、“循環器内科”では、高血圧をはじめ狭心症（心臓の筋肉を養う血管が細くなる病気）、不整脈（脈が乱れる病気）などのご病気で悩んでおられる方々に、ご病気の内容や治療の方法をご案内し、治療のお手伝いをさせていただき仕事をしております。病気や治療の内容をもっと詳しく知りたい方が気軽に相談に足を運んでいただけるよう努力してゆきたいと考えております。

循環器科では心臓超音波検査をはじめ心電図や運動負荷心電図、さらに24時間心電図などをふんだんに取り入れ、心臓の働きや故障を早く探し出し、あらゆる治療に役立てております。

動悸や頻脈発作の原因を 絶ちきる治療法も

さらに、近年流行の不整脈治療に対しても当院では積極的に取り組み始めております。特に脈がどきどきして速くなる不整脈（発作性上室性頻拍、心房粗・細動、心室頻拍など）に対してつらい症状を起こす起源をカテーテルで根絶する治療法（カテーテルアブレーション）を積極的に導入し、さらに致死性不整脈による急変を予防する装置なども活用して行く予定です。

偏りなく標準的で水準の高い循環器診療をご提供できるよう最大限の努力を惜しみません。皆さまとともに焦らず着実に歩んでゆきたいとっておりますので、よろしく願いいたします。

